

2020.09.25

来月の消費予報

消費意欲指数の低下に歯止め。
10月としては、過去5年で最高値に。

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。※9月上旬に調査(詳細はP5)

10月の消費意欲指数は48.1点。前月比+1.3pt、前年比+6.1ptと、ともに増加しています。

10月の消費意欲指数



【前月比】

+1.3 ポイント

【前年比】

+6.1 ポイント

■ : 前月比/前年比で上昇 ■ : 前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(10月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】



【前年比】



★ UP : 前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN : 前月比/前年比で20人以上減少

「来月(10月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

10月のポイント

Point1 : コロナ禍の消費意欲への影響はやわらぎ、2か月ぶりの微増に転じる。

10月の消費意欲指数は、前月から横ばいになることが多いのですが、今年は前月から+1.3ptと微増し、9月までの低下に歯止めがかかりました。また前年10月は、消費税増税直後で消費意欲が41.9点と冷え込んでいたため、前年比+6.1ptと大きく増加する結果となりました。今年の48.1点は、例年と比べても高めの指数で、10月としては過去5年で最高値となっています。

消費意欲指数の理由(自由回答)をみると(昨年の増税の影響を考慮し、2018年と比較)、消費にポジティブな回答では、「買いたい物をしていない反動・ストレス発散」(18年10月33件→20年10月72件)が増えています。

次に前月と比べると、秋物の服など「季節的な消費意欲」が増加(20年9月41件→20年10月85件)(以下、西暦略)しています。一方、「コロナが怖いので出かけたくない/意欲がわからない」(9月100件→10月63件)、「コロナで外出・買物ができない」(9月164件→10月104件)など、コロナ禍に関連するネガティブな回答が減少していることから、コロナ禍の影響は減り、人々の消費意欲は戻りつつあることがうかがえます。

Point2 : 多くのカテゴリーで、消費意向が増加

「特に買いたいモノ/利用したいサービスがある」人の割合は26.3%で、前月比+4.2pt、前年比は、消費意欲指数と同様に増税の影響もあり、+10.3ptとなっています。

カテゴリー別の消費意向については、前年比では16カテゴリーすべてでプラスとなりました。そのうち「食品」、「ファッション」、「日用品」、「外食」、「レジャー」、「旅行」など、13カテゴリーで20件以上増加しています。

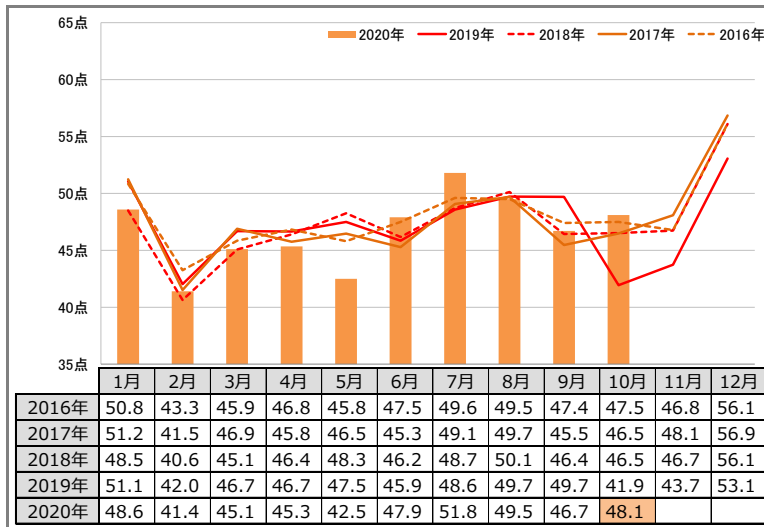
また前月比でも、「ファッション」、「外食」、「食品」など、8カテゴリーで20件以上増えており、多くのカテゴリーで消費意向が高まる結果となりました。

消費意欲指数

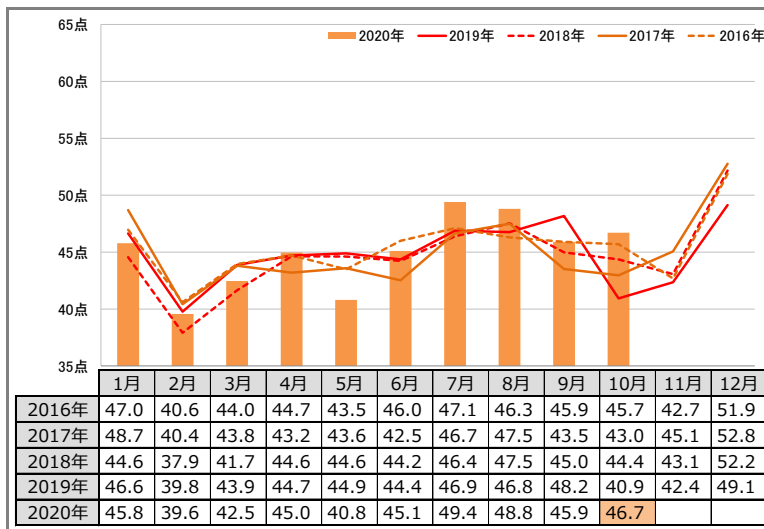
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(10月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

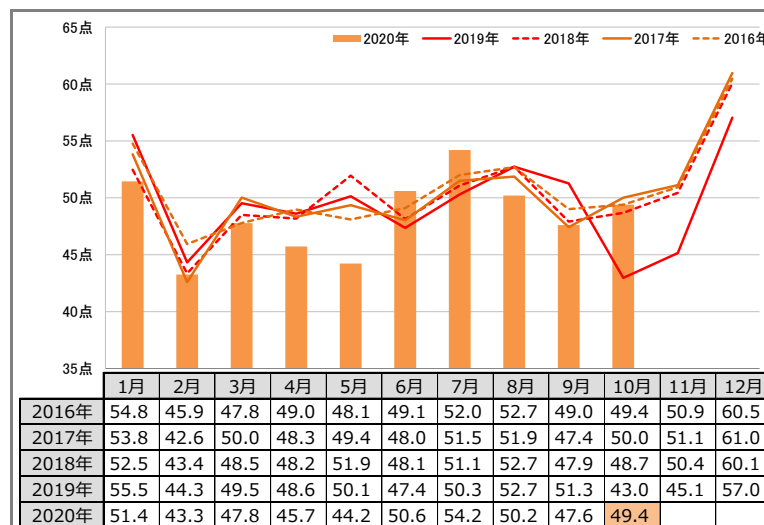
【全体】



【男性】



【女性】



消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

	(点)						20年10月比較	
	20年5月	20年6月	20年7月	20年8月	20年9月	20年10月	前月比	前年比
全体	42.5	47.9	51.8	49.5	46.7	48.1	1.3	6.1
男性	40.8	45.1	49.4	48.8	45.9	46.7	0.8	5.8
女性	44.2	50.6	54.2	50.2	47.6	49.4	1.9	6.5
20代	46.0	50.7	57.5	50.3	47.1	49.2	2.1	6.4
30代	43.3	51.5	52.9	51.5	43.4	49.4	6.0	10.9
40代	41.3	47.5	50.9	51.1	47.3	48.6	1.3	9.1
50代	40.1	44.5	48.0	47.0	47.4	43.9	-3.4	1.0
60代	43.1	45.9	51.2	47.5	48.4	49.7	1.3	2.7

+3pt以上の増加

-3pt以上の減少

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【買い物をしていない反動・ストレス発散/コロナ禍が落ち着いてきた】>

- ・コロナの影響で旅行も買い物も自粛していたが感染者数も減っており、しっかり対策すればそろそろ出かけても問題ないと思う。(60点・男性34歳・大阪府)
- ・コロナも落ち着いてきたので買いたいものがいっぱいある。(90点・男性40歳・滋賀県)
- ・GoToトラベルを利用して旅行にはいきたいので旅行商品を購入したい。(70点・男性56歳・神奈川県)
- ・今まで外出を控えていたので、10月はその反動が出て購買意欲が増す(80点・男性68歳・愛知県)

・今、コロナで世帯収入が減っているので節約している。もともと買い物が好きなので、物欲が上昇している(100点・女性28歳・愛知県)

・少し終息の傾向が見られるなか、少しはお出掛けや外食したり、お金を使ってもいいかなと思えるようになってきた(80点・女性31歳・愛知県)

・最近では欲しいものを我慢したり先送りしていたのでそろそろお金使いたい(80点・女性42歳・愛知県)

・夏休みの旅行も自粛で行けなかったの、ショッピングは楽しもうかなと思っている。体調やこれからのコロナの状況を見つづ機会があれば旅行も視野に入れたい(70点・女性51歳・東京都)

・コロナの流行で買い物を控えているので、かなりストレスがたまっている。来月こそは、買い物を楽しみたいから(80点・女性61歳・兵庫県)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【季節的な消費意欲】>

・秋服がないので購入したい。靴もちょうど汚れてきたので履き替えたい(70点・男性26歳・千葉県)

・季節の変わり目で、欲しいものが増えるから(85点・男性31歳・愛知県)

・秋になると食欲もますから(65点・男性38歳・大阪府)

・食欲の秋ですし、行楽シーズンだから(80点・男性48歳・愛知県)

・季節の変わり目であるので必要なものは買いたい(60点・男性67歳・奈良県)

・ちょうど涼しくなってくる頃なので季節に合った新しい服がほしくなると思う(70点・女性22歳・兵庫県)

・秋の食べ物が魅力的だから。連休があるから(80点・女性34歳・愛知県)

・自分と子供たちの秋物の服を購入予定。あと化粧品(化粧水、パック)などもなくなりそうなので購入予定(70点・女性42歳・大阪府)

・季節が過ぎやすくなったら、あちこちでかけたくなるし、アウトドア用のウェアも買い替えたいと思う(80点・女性55歳・東京都)

・孫の七五三があるので外食する(70点・女性61歳・岐阜県)

()内点数:消費意欲指数

(参考) 新型コロナウイルス周りの主な動き ※前回調査(8月3日～6日)後より今回調査(9月3日～7日)まで

- 8月7日 全国の感染者数、過去最多の1,608人
- 8月8日 東京都の感染者数は429人、2日連続で400人超
- 8月13日 GoToキャンペーンの登録3割どまりで伸び悩み
- 8月17日 GDPマイナス27.8% 戦後最大の下げ コロナ自粛で大打撃
- 8月21日 「感染ピークは7月末」コロナ分科会見解
- 9月2日 全国の感染者数、643人。厚労省の専門家組織、「全国のコロナ感染は緩やかに減少中」と発表
- 9月5日 「コロナ第2波の致死率低下。第1波の6分の1に」国立感染症研究所発表

補足資料③

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(10月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2020年10月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	26.3	4.2	10.3
男性	22.5	0.2	5.9
女性	30.1	8.2	14.7

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(394人)

参考:男性(170人)

参考:女性(224人)

順位	カテゴリー	10月 (人数)	前月比	前年比	順位	カテゴリー	10月 (人数)	前月比	前年比	順位	カテゴリー	10月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	204	+62	+96	1	食品	76	+21	+30	1	ファッション	140	+49	+75
2	食品	185	+45	+86	2	ファッション	64	+13	+21	2	食品	109	+24	+56
3	外食	159	+51	+75	3	旅行	60	-17	+15	3	外食	107	+55	+62
4	旅行	145	+22	+54	4	外食	52	-4	+13	4	化粧品	96	+27	+48
5	飲料	118	+27	+48	5	飲料	50	+7	+11	5	旅行	85	+39	+39
6	化粧品	106	+30	+47	6	書籍・エンタメ	45	-3	+3	6	理美容	82	+23	+44
7	書籍・エンタメ	103	+8	+34	7	家電・AV	44	-4	+4	7	日用品	70	+22	+40
8	日用品	98	+26	+54	8	レジャー	38	-10	+17	8	飲料	68	+20	+37
9	レジャー	97	+26	+54	9	パソコン・タブレット・周辺機器	32	-2	±0	9	レジャー	59	+36	+37
10	理美容	94	+16	+41	10	車・バイク	31	+1	+12	10	書籍・エンタメ	58	+11	+31
11	家電・AV	91	±0	+33	11	装飾品	29	+11	+13	11	家電・AV	47	+4	+29
12	インテリア用品	67	+7	+42	12	日用品	28	+4	+14	12	インテリア用品	43	+6	+27
13	装飾品	62	+10	+29	13	スマートフォン・携帯電話	27	-3	+4	13	装飾品	33	-1	+16
14	スマートフォン・携帯電話	46	+7	+13	14	インテリア用品	24	+1	+15	14	スマートフォン・携帯電話	19	+10	+9
15	パソコン・タブレット・周辺機器	44	-3	+4	15	理美容	12	-7	-3	15	パソコン・タブレット・周辺機器	12	-1	+4
16	車・バイク	36	+1	+11	16	化粧品	10	+3	-1	16	車・バイク	5	±0	-1

<全体にのみ下記基準で色付け>

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

■:前月比/前年比で20人以上増加

■:前月比/前年比で20人以上減少

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(10月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(10月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。					
調査地域	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏					
調査対象者	20～69歳の男女					
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付					
サンプル数	合計1,500人					
	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	1100	161	137	755
女性	1110	141	1105	1510	142	745
合計	241	2106	375	3110	2710	1,500
調査方法	インターネット調査					
調査時期	2020年9月3日(木)～7日(月)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)					
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ					

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

・博報堂生活総合研究所は、9/17付で「第6回 新型コロナウイルスに関する生活者調査(2020年9月)」を発表いたしました。

https://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2020/09/20200917_1.pdf

こちらは、毎月第3-4週頃に発表する予定です。併せてご利用下さい。

問い合わせ先 博報堂生活総合研究所(近藤-夏山) 03-6441-6450 seikatsusoken.mail@hakuhodo.co.jp
株式会社博報堂 広報室(寺村) 03-6441-6161 koho.mail@hakuhodo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2020-010/>)からダウンロードしていただけます。